みんなを笑顔に ～超神ネイガーの魅力～

■ゲンキ・リチャージ・プロジェクト

県北の小学校の修学旅行。ネイガーがホテルの昼食会場に登場。先生と一緒になってホジナシ怪人を懲らしめる即興劇を披露。やっつけられたホジナシ。マスクを剥ぎ取ると、まさかの教頭先生！子どもたちは大はしゃぎ！会場は大爆笑の渦となった。

市では令和2年度から超神ネイガーとタッグを組み、にかほ市民のみならず、市を訪れた人たちを元気にする取り組み、「ゲンキ・リチャージ・プロジェクト」を開始しました。「街角ネイガー」や「お迎えネイガー」などがその取り組みで、前述の小学校の昼食会場への参上も「お迎えネイガー」の一つです。

今回のプロジェクトの目的の一つは、コロナ禍に打ち勝つです。コロナ禍に苦しむ人々。中でも子どもたちは遠足や修学旅行、スポーツ大会などの学校行事が縮小・中止となり、楽しいはずの思い出が奪われ、卒業アルバムも「あるはずの写真」がわずかしかないものとなりました。このプロジェクトは『そんな子どもたちに笑顔を』から始まっています。

■超神ネイガーの温かさ

また、このプロジェクトにはアフターコロナを見据えた誘客事業としての目的もあります。ネイガーには活動内容を報告書として毎回提出してもらっています。ネイガーに活動報告書。何となく似合いませんが、その内容は心温まるもので、このプロジェクトに奥行きを感じさせてくれています。ほんの一部を抜粋して紹介します。なお、全体については活動日記のような読み物として市HPで広く公開する予定です。

▼**10月4日　オープンキッチンフェスタ**

野菜嫌いな追っかけのちびっ子。「今度来るときは野菜を食べている姿の写真を持ってきてけれな」と約束。なんとその日のうちに「ネイガーから言われて初めてブロッコリーを食べてくれました」と父親が教えてくれました。

▼**11月14日　TDKグラウンド**

県内の少年サッカー64チームが熱戦。試合待機中の少年少女が「ネイガー！なんでいるの!?」と大喜び。力自慢の男の子たちが腕相撲を挑んできましたが、もちろん超神なので力の差を知ってもらいました。帰り際に、女の子からラブレターをもらいました。

▼**12月20日　はまなす**

ババちゃん集団に証文御守りカードを渡すとしったげ喜んで拝んでいました。

▼**1月9日　フェライト子ども科学館**

ネイガー情報を見て横手から会いに来てくれたファミリー。「冬休みに子どもに何かしてあげたくて。大好きなネイガーに会えて本当に良い冬休みになりました」とうれしい言葉をもらいました。

▼**1月31日**

ゲンキリチャージを初めから追ってくれている読売新聞の記者から、「かなりの反響があるのでネイガーが秋田の魅力を全国に伝える企画をやりましょう」との提案。本当にありがたいです。

▼**2月17日　巾山スキー場**

前回会った園児たち。「今度会ったら雪合戦しような」と約束していたのである事に。ネイガーVS園児みんな！ネイガー雪まみれ。園児の勝ち～！

■プロジェクトの可能性

このプロジェクトは反響が大きく、NHKをはじめ多くのマスコミが取り上げ、全国に発信してくれています。

優しく人懐っこい超神ネイガーは、にかほ市にとっての資源であり、ブランド力をもった”特産品“とも言えます。すでに有る彼らの魅力を更にアップさせることで、市の魅力も向上させることができると強く感じています。

にかほ市長
市川雄次